

医療体制

在宅医療の推進体制は

総合戦略改定の中で反映

耐震が急がれる
鈴診療所・消防屯所



矢野 昭三 議員

問 医療、介護の総合的な確保の促進に関し町として、在宅医療を推進し、住民の命を守るために新診療所を設置するよう住民の声を聞き計画を作成する。

答 松本町長

総合戦略の中で見直しを実施し住民の声等を含め反映させていく。

在宅医療の充実は今後の超高齢化社会を迎える前にあり対応する。

医療従事者の確保、基本的な総合戦略の見直しを図りながら課題解決に向かっていきたい。

薬剤の投与について十分な説明がないまま直営診療所において、薬剤の投与がされないため費用がかさみ、住民は極めて困っているが、対策を講じるか。

佐賀、拳ノ川、鈴、伊与喜診療所の耐震、衛生施設の管理を問う。

佐賀、拳ノ川診療所は耐震、トイレの水洗洋式工事は完了している。鈴は耐震工事が未了、トイレは水洗洋式化が完了、伊与喜はともに未了。



町内産材

住宅建設に活用は

前向きに取り組む

水力発電は町としても大切にしていかなければならぬが、可動堰の可否を総合的に判断し、県と協議していきたい。



頭首工の下流右岸に放水口、左岸に堆積土砂と葦

問 町内産の木材活用は様々な効果が期待できるが、町は振興のためにも財政支援をするか問う。

答 松本町長

新たな制度を協議しているが、他の産業にも経済効果がありスピード感を持って進める。

治水対策

可動堰が必要では

県と協議する

【その他の質問】
・合併協定項目について

唯一の幹線国道56号は、荷稻から不破原間に於いて地形急峻、土質軟弱、線形不良箇所があり、強勒化工事が必要ではないか。

問 国道56号 強勒化工事が必要では

答 松本町長

国土交通省は、法面など毎年点検調査を実施。当区間は、災害対策拠点と避難拠点を結ぶ重要区間。小黒ノ川で視距改良工事中、他にも線形不良、災害危険箇所があり引き続き要望する。

耐震・トイレの水洗洋式化が急がれる伊与喜診療所